

あべともこニュース

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

日々の暮らしとみんなの地域を大切に！



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 8 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともここども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式 X (旧 Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



◆神田香織講談、はだしのゲン、圧巻

皆さん「はだしのゲン」という漫画をご存知ですか？学校で習った、聞いたことがある、という方も少なくないはず。80年代に少年ジャンプというコミック雑誌に掲載された中沢啓治さんの自伝的作品で、被爆の実相を子ども達にもしっかり伝えたいと考えた作者の渾身の作品です。今はアニメブームもあってか、世界各国でアニメ化され、日本では映画にもなりましたが、悲惨な描写を遠ざけるといふ理由？で、広島では一時閲覧を停止させた事も。

この原作を講師の神田香織さんが語ります。原爆を扱った映画も「広島」に始まり最近の「長崎の祈り」までいくつもありますし、ドキュメンタリーフィルムも残されていますが、神田さんがこれを講談として語る許可を中澤さんにとったのは30年以上前。以来各地で公演されています。

私は先日、世田谷ネットの皆さんの企画で、聴く機会がありました。人の声を持つ迫力、講談という独特の舞台が、映像以上に生々しく原爆の悲劇を伝えていて、圧巻でした。

◆地域のひとともに作る医療

26日から27日、長野県佐久総合病院で開催された、「第63回農村医学夏季大学講座」に参加しました。「農村医療」のパイオニアとして尽力された若月俊一医師のお名前を冠した「若月賞」の授賞式をはじめ、今回のテーマ「地域医療をともにつくる」社会的共通資本としての医療」に添った、故宇沢弘文さんのお嬢さんである占部まりさんのお話もありました。

今回の「若月賞」の受賞者は、ネパールをはじめ医療過疎地域で医療活動及び人材育成に貢献されてきた櫛戸健次郎氏と、沖縄出身でハンセン病当事者として、差別や偏見と闘い、ハンセン病の正しい理解普及に貢献された伊波敏男氏。お二人の長きにわたる実践の中でのご苦労・葛藤とこれからの世代への医療のあり方、平和構築のために何ができるかというご講演でした。

「農村」を通して、今一度人と人との繋がりを大切にしていく重要性をも再認識させられました。

◆暑さに負けない！夏のイベント

今夏も7月から8月にかけて、藤沢市内・寒川町内でもたくさんのお祭りが開催されています。コロナ禍を経て、数年ぶりに開催のお祭りも多く、小さな子ども達には、初めての体験なのかもしれないと思いつつ、キラキラ目を輝かせてお祭りを楽しむ姿がとっても微笑ましいです。御神輿ひとつとっても、担ぐ人、太鼓や笛でお囃子を演奏する人、子どもから高齢な方までみんなで作るお祭りは、地域の大事な交流の機会なのだなと思いました。

27日に寒川町で開催された「川の生き物探検隊」のイベントでは、とても暑い日でしたが、小さな「さかなクン」達が夢中で川の生き物を見つけて観察していました。素敵な思い出が、ひとつずつ増えていく夏になりそうです。

各地域のお祭りや盆踊り大会でも皆様とお会いできることを楽しみに。



14日、江ノ島天王祭